

# HUGコミ

http://npohug.com/

第30号

2018年12月



発行：NPO法人HUGこどもパートナーズ/TEL&FAX:050-3510-4587/E-Mail info@npohug.com

HUGの新たな  
取り組み

## てまひま基地

“早い・便利、から”のんびり・てまひま、へ

花さき保育園旧園舎 保育棟2,3階。「てまひま基地」は、いのちや暮らし、多様さを大切に考える場、親子も子どもも学生もシニアの方もどなたでも寄れる地域の間です。



### ものづくり

- 編み物
- 縫い物
- リメイク
- はたおり……

てまひま基地で〇〇したい！  
たとえば…

アイデア・企画・お手伝い…  
あなたの力を貸してください！

### 食ラボ

- からだにいい食べ物
- 発酵食作り
- 非常食作り
- つぼ焼き芋……

### 子育て応援

- 親子ようちえん
- わらべうた
- 子育てひろば
- 親子講座……

### 本に関する活動

- 本に出会おう！
- ～私のオススメの本
- ブックトーク……

### リサイクル

- フリーマーケット
- おもちゃ交換会

### 学び・交流

- くらしの学び
- 社会の学び
- テーマ別カフェ
- からだカフェ……  
(ストレッチ、ヨガなど)

### 環境整備部 (DIY)

- 施設の整備に力を貸してください！！
- 鉄柵みがき 雨漏り対策 壁塗り 備品作り etc…

### 人材バンク

地域に眠る人材を発掘しよう！  
こんなこと一緒にやりたい！という人募集中



Twitter



Facebook



『きらめく甲虫』  
丸山宗利 著  
幻冬舎

直に触れるほど虫好きではない私ですが、Eテレで不定期に放映されている香川照之さんの「昆虫すごいぜ！」が好きすぎて、思わず足を運んだ国立科学博物館の「昆虫展」。

巨大なカブトムシや蚊などのフィギュアに圧倒されたり、膨大な昆虫標本をじっくり眺めたり、知られざる虫の能力に驚嘆したり…とすっかり虫の世界を堪能した後、ミュージアムショップで出会ったのが、この美しい図鑑です。虫なのに、生きて動いているのに、このメタリックな輝き！洒落た配色の、水玉や縞や素敵な模様の虫たちに、とにかく目を奪われます。

それぞれに添えられたコメントも秀逸。「まっさらな紙に一筆払ったような潔さ」「荒涼とした地に映える鮮やかな虹色光沢」…思わず膝を打ったリクスッと笑ったり。興味尽きない極上の一冊です。(M)



手作りリースとおかゆパンを食べながら、ちいばあと話す時間。ちいばあを包み込む温かさパワーに元気がもりました。今年も残すところあとわずか。来年こそ、希望が持てる年となりますように…。



『サピエンス全史』  
上下巻  
ユヴァル・ノア・ハラリ 著  
河出書房新社

イスラエル人の歴史学者が「人間の幸福とは？」という視点で書いた人類の歴史書です。

人間はなぜこのように進歩してきたのか、なぜ戦うのか、どうして宗教が生まれたのか、人類はこれからどこへ向かうのか…など、独自の視点でこれほど俯瞰的に書かれたものはないのでは。

サル的一种でしかなかった人類がこのように発展してきたカギが「虚構」だったとは！国境も貨幣も、法律も…人類が「考えたこと」。この当たり前のことへの気付き！そしてこの「虚構」こそが他人同士の協力を可能にし、人類が地球を支配するまでになった…。

続編の『ホモ・デウス』上下巻は、人類の未来について書かれています。人類は老いや死を克服しようと自らを改良し、更なる格差が生まれるのか。これまでの社会のしくみが崩れつつあることやテクノロジーの進歩の速さを感じるこの頃、未来を想像するのに刺激的な一冊です。(T)

## HUGのスタッフの おすすめBOOK



『わたしのゆたんぼ』  
きたむら さとし 著/偕成社

ゆたんぼ、使ったことありますか？

お布団の中に入れて、冷えた足を優しく温めてくれますよね。でも寝ていると暖かくなって、寝相によってはゆたんぼが遠くに行ったり、そしてまた寒くなると足でゆたんぼを探してつかまえて温まったり。

絵本では、そんなゆたんぼがある晩ついに冷たい私の足を嫌って逃げ出して行くのです。えっ、そんなところまで行くの!?

身近な出来事から果てしない旅に発展するお話のおもしろさ、広くて深く優しい絵、昭和感あふれる女の子、ゆたんぼのつぶやきもかわいい。ゆたんぼも絵本もオススメです！(S)

### 雑記報

10月11日、ノーマルベビーズ・プロジェクト「わが家の子育て見つける講座」(全6回)を開催。乳幼児をもつ親を対象に参加者が悩みを分かち合い、交流するカナダ生まれの保育付き連続講座。昨年度に続き今年も10組の親子を迎えました。東村山市社会福祉協議会の助成を受け、会場はこころの森の協力もいただきました。子どもと離れて自分と向き合い、大変なのは自分だけではないんだなあと共感しあえる時間。そんな経験がママ達の力になることを実感しています。■古い園舎を素人整備。ほりまみれや筋肉痛を乗り越え、何とか11月25日にオープンした「てまひま基地」。地域の皆さんと共に、どう育つていけるか挑戦です。■HUG有志で、大きい研究会が発足。芋話に明け暮れています(笑)。大きな壺の中に芋をつるして、練炭や炭でじっくり焼く「つぼ焼き芋」ってご存知ですか？これが最近ちらほら復活の兆し。私達も小さい壺を手に入れ試行錯誤で焼いています(銀座では1本700円！)。ぜひ「てまひま基地」に食べに来てください。■12月2日(日)は長野県松本から、ちいばあこと木島千草さんをお招きし「がらくた座人形劇」からだのおはなしのちのおはなしを開催。くつ下などの廃品を利用した手作り人形を使った舞台はどの世代も楽しめる、からだの成長やいのちの大切さがストレートに伝わります。後半はスタッフ

# 三世代同居と仲間たち 地域での子育て

**H.Sさん** (美住町)

長男 39歳 長女 37歳 次男 34歳

結婚した翌年、長男を出産しました。安産でしたが、その後が大変なことになってしまいました。退院して実家に戻ると湿疹がポツポツ！すぐに高熱も出てきたのです。なんと水疱瘡！急ぎよ義母が生まれたばかりの長男を預かってくれることになりました。大人になってからの水疱瘡は重症になるようで高熱が続き、母乳を飲ませることができないのでおっぱいも熱を持って、ふらふらしながら絞ったり冷やしたりしました。後で聞くと家族は命の心配をしたほどだったそうです。ようやく治って2週間以上かりに見る我が子はとても大きくなっていて驚きました。義母からミルクをよく飲みよく寝る育てやすい子だったと聞きました。

2人目も実家に戻りましたが3番目は上の子どもたちが幼稚園に行っていたこともあり、市内の山地産婦人科で出産。子育ては義母がいつも手

夫の両親が東村山に新しく家を買った翌年に嫁ぎました。大田区で育った私にとって、当時の東村山は「遠足に行くところ」というイメージ。近くの公園の木は鬱蒼として、夜は暗いし、西武線の赤い車両の電車の床も木製でした。

結婚して仕事を辞めましたが、当時はそれが当たり前。結婚退職も同居もそんなものだと感じていました。3人の子どもに恵まれ、どの子の時もつわりもなく安産、みんな健康な子でした。小さな頃からきょうだい仲良しで、今でも一緒にスポーツ観戦などに出かけています。最初、田舎だなと思った公園も子育ての中で徐々に愛着がある場になりました。

伝ってくれました。下の子を産んだ時の上の子どもの面倒や幼稚園の送迎などもすべて義母のお世話になりましたし、長女が中耳炎になって一晩中泣いた時は義母が交代でおんぶしてくれました。長女の入園式の時、一緒に入園する友人家族に下の子が生まれたばかりでした。大変だろうと、義母がその赤ちゃんを預かってくれたこともあり。

義父は厳しい人で嫁の私を心配する親戚がいるほどでしたが、孫をそれはかわいがってくれ、その姿に周りが驚いていましたね。義父母が3人の子どもの面倒をみるからと、私達夫婦を数日間の旅行に出してくれたことも一度ではありませんでした。同居の大変さというより、ありがたかったという気持ちでいっぱいです。

また、公園で遊んだり幼児教室すすめ(当時3歳児のみ。1日おき)に通う中で、大切な子育て仲間ができました。当時は子育てひろばのような場所もなく、お互いの家を行き来したり外で遊ばせていましたね。お誕生会もしました。親友もでき、その時の仲間とは今でも付き合いがあります。義父が倒れて義母が池袋の病院に泊まり込んでいた時は私も着替えなどを持って通いましたが、その間は友達がうちの子ども達を迎えに行ってくれてご飯まで食べさせてくれました。仲間同士、支え合って子育てをしてきました。

私自身は父を早くなくし母が働いて育ててくれました。それを不満に思ったことはありませんでしたが、子ども達には「おかえり」と言っただけでなくて主婦として家庭を大切に生きてきました。子どもたちが大きくなってパートに出るようになり、そこに長く勤めました。夫はどんなに遅く帰っても家で食事をとるの外まで見送るといって日々を続けてきました。夫が退職した今は、買い物や洗濯などなるべく自分でやってもらうようになっています。夫は実家を出た経験がなく家事は苦手。不自由さも感じているようですが、子ども達が「お母さんは家の仕事をしてくれたのだから夫婦対等、お父さんも自分のことは自分で」と言ってくれますし、私の方が先にいなくなったら困りますから(笑)。

振り返ると、義母には全面的に応援してもらっていたし、すすめの保育者や近所の人からアドバイスをもらったり、友達と助け合ったり、多くの人の手を借りて子どもを育ててきたのだなあと改めて思います。

今の子育て環境を見ると、共稼ぎが多く祖父母世代も現役で働いている人が多いし、助けが得られない上にかく皆さん忙しくて大変…。少しでも子育ての手助けをしてあげられたらと、12年前、ファミリー・サポート・センターの講習を受け提供会員となり活動しています。

地域の子育て家庭の応援ができた嬉しいです。



まだまだ使える旧園舎。中はどんな感じかな？のぞきに来てください。



スケジュールはFacebook Twitter 別紙カレンダーを見てください！

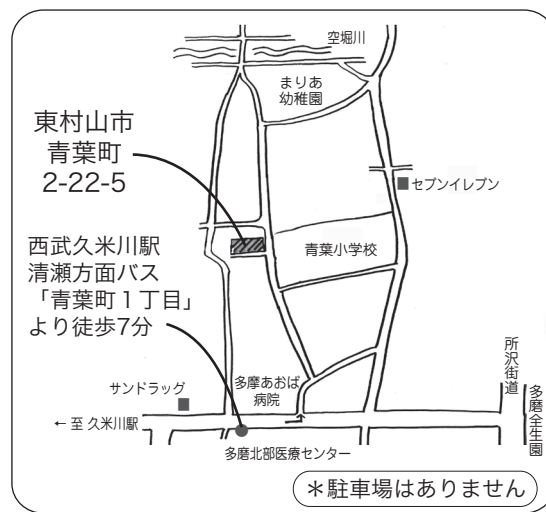


10:00~15:00  
親子講座・くらしの講座  
おひるごはんの日  
子育てひろば など



13:30~19:00  
からだカフェ  
環境整備部(DIY)  
リサイクル・ものづくり など

2018年12月~2019年3月、てまひま基地は  
**水曜日と土曜日にOPENします**



## 掃除・片付け・DIY

青葉町2丁目、花さき保育園旧園舎の2・3階。築40年以上、6年半使っていたなかった施設で地域事業を試みるため9月後半から少しずつ整備を始めた。

まずはとにかく掃除と片付け！クギを抜いたり棚を外したりペンキを塗ったりカウンタや下駄箱を手作りしたり…はじめてづくしの素人DIYに挑戦してきました。てまひまかけ、ない知恵絞って再利用がテーマです(お金がないということもあるけれど)。オープン後の現在も整備は継続中。興味のある方、お手伝いください。

## 11月25日(日) おひるめの会

140名ほどの方がお立ち寄り下さりにぎやかな一日となりました。どうもありがとうございました！

手作りのすいとんや焼き芋、駄菓子、おもちゃ交換会や工作コーナー、手作り雑貨、フリマ、ハンドリフレ、ベビーマッサージ…各コーナーとも大盛況。居心地がいいという声に嬉しくなりました。

整備中の建物の様子や活動趣旨の展示を見てくださる方も、「てまひま基地で〇〇したい?」のボード(↓)で、引き続きみなさんの声を集めています！



「つぼ焼き芋屋」すっかり職人!の中学生



「駄菓子屋ひまこ」店主は小学生



「工作コーナー」ストロー竹とんぼ・ペーパーヨーヨー



「おもちゃ交換会」看板も小2の店主作!